

小平・東大和・武蔵村山地域 循環型社会形成推進地域計画

小平市

東大和市

武蔵村山市

小平・村山・大和衛生組合

平成26年12月18日

第1回変更 平成27年12月18日

第2回変更 平成28年12月21日

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名	小平市、東大和市及び武蔵村山市
面積	49.37 km ²
人口	343,058 人（平成25年10月1日現在）

(内訳)

市町村名	小平市	東大和市	武蔵村山市
面積 (km ²)	20.46	13.54	15.37
人口 (人)	186,268	84,597	72,193

(2) 計画期間

本計画は平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間を計画期間とする。

なお、事業の進捗状況や目標の達成状況、社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

本地域は東京都の多摩地域に位置し、東京都全域の約2.3%の面積を占める。

本地域の北部には貯水を目的として建設された人工湖である多摩湖があり、3市にまたがって東西に青梅街道、新青梅街道が整備されている。また、鉄道は西武新宿線、西武拝島線等が整備されている。

本地域の一般廃棄物発生量については減少傾向にあるが、小平・村山・大和衛生組合（以下「組合」という。）が保有する粗大ごみ処理施設や、各市が保有または委託している資源化施設は老朽化や処理能力の不足等の問題を抱えている。

今後は、廃棄物のより一層の発生抑制及び再生利用の推進を図るとともに、循環型社会にふさわしい廃棄物リサイクル・処理システムの構築を図る。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物処理の現状

平成25年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図1のとおりである。

総排出量は、集団回収量も含め、96,966トンであり、再生利用される「総資源化量」は34,215トン、リサイクル率(= (直接資源化量+中間処理後の再生利用量+集団回収量) / (ごみの総処理量+集団回収量))は35.3%である。

中間処理による減量化量は62,604トンであり、集団回収量を除いた排出量のおおむね7割が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の約0.2%に当たる146トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は72,023トンである。焼却施設では施設内に給湯を行っており、さらに、隣接する「こもれびの足湯」へ温水供給を行っている。

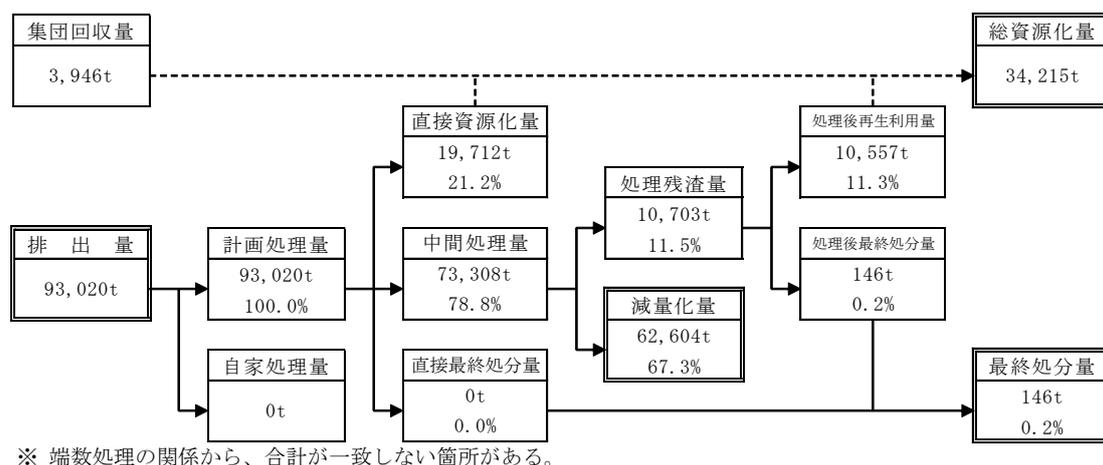


図1 一般廃棄物の処理状況フロー

(2) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表2のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表2 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標		現 状 (割合 ^{※1}) (平成25年度)	目 標 (割合 ^{※1}) (平成32年度)
排 出 量	事業系 総排出量	8,759 トン	8,231 トン (-6.0%)
	1 事業所当たりの排出量 ^{※2}	0.85 トン/事務所	0.81 トン/事務所 (-4.7%)
	家庭系 総排出量	84,261 トン	80,135 トン (-4.9%)
	1 人当たりの排出量 ^{※3}	188 kg/人	178 kg/人 (-5.3%)
合 計	事業系家庭系総排出量	93,020 トン	88,366 トン (-5.0%)
再 生 利 用 量	直接資源化量	19,712 トン (21.2%)	19,779 トン (22.4%)
	総資源化量	34,215 トン (35.3%)	34,008 トン (36.8%)
熱 回 収 量	熱回収量 (年間の発電電力量)	—	—
減 量 化 量	中間処理による減量化量	62,604 トン (67.3%)	58,395 トン (66.1%)
最 終 処 分 量	埋立最終処分量	146 トン (0.2%)	73 トン (0.1%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = { (事業系ごみの総排出量 - (事業系ごみの資源ごみ量)) } / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = { (家庭系ごみの総排出量 - (家庭系ごみの資源ごみ量)) } / (人口)

《指標の定義》

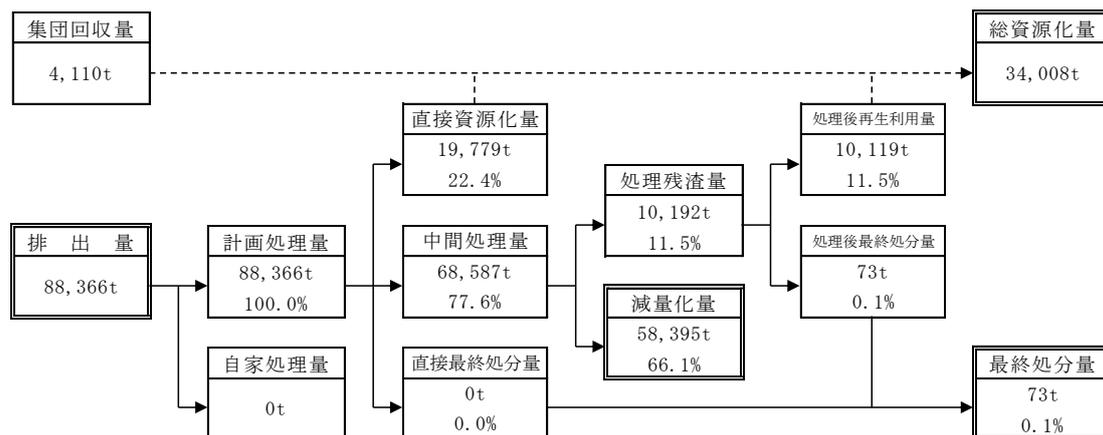
排 出 量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量 (集団回収されたごみを除く。) [単位:トン]

再 生 利 用 量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和 [単位:トン]

熱 回 収 量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位:MWh]

減 量 化 量：中間処理量と処理後の残さ量の差 [単位:トン]

最 終 処 分 量：埋立処分された量 [単位:トン]



※ 端数処理の関係から、合計が一致しない箇所がある。

図3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー

3. 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア. 家庭ごみ有料化

現在、事業系一般廃棄物の有料化については、3市いずれも、指定袋による課金及び収集運搬許可業者が処理手数料を徴収する方法を採用している。

家庭ごみの有料化については、平成26年10月1日より東大和市で指定袋による排出が実施されており、小平市においては平成31年度を目途に、武蔵村山市においては平成30年度を目途に実施を検討することとしている。

イ. 生ごみの減量

小平市では、未利用食品の削減、生ごみの水切り、食物資源（生ごみ）循環モデル事業による資源化等を図っており、東大和市では、生ごみの水切り等、市が市民や事業者に対して啓発を行っている。また、武蔵村山市では、生ごみの水切り、生ごみの堆肥化モデル事業等によるごみの減量化を図っている。

ウ. 環境教育、普及啓発、助成

小平市では、市民の学習や啓発活動を継続実施し、市民生活や事業活動の見直しを図っており、東大和市では、出前説明会等、市民及び事業者に対して啓発を行っている。また、武蔵村山市では、3R意識を向上させるための広報の充実、環境学習プログラムの提供、出前講座の実施等、普及啓発活動を図っている。

エ. マイバッグ運動・レジ袋対策

3市いずれも、市民に対しては、購入時に容器包装の少ない商品を選択したり、マイバッグ等の使用、事業所に対しては、簡易包装の推進やレジ袋の削減を呼び掛け、販売段階での廃棄物の発生の抑制を図っている。

(2) 処理体制

ア. 家庭ごみの処理体制の現状と今後

分別区分及び処理方法については、表 3 のとおりである。

現在、3 市の可燃ごみについては、組合が保有する焼却施設にて焼却処理しており、今後も現状の体制を継続する。

3 市の不燃・粗大ごみについても組合が保有する粗大ごみ処理施設にて処理を行っており、今後も現状の体制を継続するが、施設の老朽化及び旧式化が進んでいるため、現状のごみ量・ごみ質に見合った、新たな施設を整備し資源化を推進したうえで、残さは適正処理を行う。

可燃、不燃及び粗大ごみを除く一般廃棄物については 3 市それぞれが単独で処理を行っているが、今後、容器包装プラスチック及びペットボトルについては（仮称）3 市共同資源物処理施設にて処理を行い、その稼働時期を目途に 3 市地域内の資源化基準及び分別区分の統一を図る。また、小平市ではこれを機に、現在焼却処理している軟質性プラスチックの資源化を行う。

家庭ごみの戸別収集については、東大和市は平成 26 年 8 月 1 日より導入、小平市及び武蔵村山市では、家庭ごみの有料化とともに導入することを検討している。

イ. 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

今後とも家庭ごみの分別区分に準じ、収集、処分を行う。

また、事業用大規模建築物（事業の用途に供する部分の延床面積が 3,000 m²以上の建築物）の所有者に対しては、廃棄物管理責任者の選任及び、再利用に関する計画書の作成を義務付けている。

ウ. 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

現在、産業廃棄物の処理は行っていない。今後も現状の体制を継続する予定である。

エ. 今後の処理体制の要点

- ◇（仮称）3 市共同資源物処理施設を整備し、資源化基準及び分別区分の統一を図る。
- ◇現状のごみ量・ごみ質に見合った不燃・粗大ごみ処理施設を整備する。

表3 小平・東大和・武蔵村山地域各市の家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現状（平成25年度）																					
小平市				東大和市				武蔵村山市													
分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (トン)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (トン)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (トン)							
		一次処理	二次処理				一次処理	二次処理				一次処理	二次処理								
燃えるごみ	焼却・エコセメント化	小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設	(焼却灰)東京たまエコセメント化施設	29,545	可燃ごみ	焼却・エコセメント化	小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設	(焼却灰)東京たまエコセメント化施設	13,965	燃やせるごみ	焼却・エコセメント化	小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設	(焼却灰)東京たまエコセメント化施設	12,538							
燃えないごみ	破砕・選別・埋立	小平・村山・大和衛生組合粗大ごみ処理施設	(破砕不燃)東京たま広域資源循環組合日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場(有価物)売却	5,032	不燃ごみ	破砕・選別・埋立	小平・村山・大和衛生組合粗大ごみ処理施設	(破砕不燃)東京たま広域資源循環組合日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場(有価物)売却	913	燃やせないごみ	破砕・選別・埋立	小平・村山・大和衛生組合粗大ごみ処理施設	(破砕不燃)東京たま広域資源循環組合日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場(有価物)売却	1,130							
粗大ごみ				1,061	粗大ごみ				198	粗大ごみ				222							
缶類(アルミ缶、スチール缶)	選別・圧縮・保管	小平市リサイクルセンター	売却	507	缶類(アルミ缶、スチール缶)	選別・圧縮・保管	東大和市暫定リサイクル施設	売却	241	缶類(アルミ缶、スチール缶)	選別・保管	武蔵村山資源リサイクルセンター	売却等	275							
ビン類(生びん)	選別・保管			53	ビン類(生びん)	選別・保管			36	ビン類(生びん、カレット)				258	36	ビン類(生びん、カレット)	710				
ビン類(カレット)				1,247	ビン類(カレット)				572												
プラスチック容器	選別・圧縮・保管			519	プラスチック容器	委託			938	プラスチック容器				205	938	プラスチック容器	205				
ペットボトル				577	ペットボトル				258												
白色トレイ	選別・保管			小平市清掃事務所	売却	3			白色トレイ	選別・保管				東大和市暫定リサイクル施設	売却	1	紙パック	資源化	武蔵村山資源リサイクルセンター	売却等	6
紙パック						9			紙パック							8					
布類	保管			小平市リサイクルセンター	売却	796			布類	資源化				売却	345	布類	資源化	売却等	283		
紙類	資源化					委託			5,940						紙類	2,352			紙類	2,446	
金属類(自転車等)	資源化			委託		83			金属類(鉄千地、自転車)	選別・保管				東大和市暫定リサイクル施設	売却等	96	金属類	武蔵村山資源リサイクルセンター	売却	25	
剪定枝	チップ化	小平市リサイクルセンター	保管	52	剪定枝	チップ化	再使用	270	剪定枝	チップ化	委託	76									
優良粗大ごみ	修復	小平市リサイクルセンター(リプレこだいら)	再使用	17	粗大ごみリサイクル品	修復	再使用	1	鉄製粗大ごみ	資源化	委託	売却	61								
食物資源	資源化	委託		73	生ごみ	資源化	委託	1													
有害ごみ(電池、蛍光管、水銀体温計等)	選別・保管	小平市清掃事務所	委託	69	有害ごみ(電池、蛍光管、水銀体温計等)	保管	東大和市暫定リサイクル施設	委託	23	有害ごみ(電池、蛍光管、水銀体温計等)	選別・保管	武蔵村山資源リサイクルセンター	委託	27							
鍋・やかん		小平市リサイクルセンター	売却	1																	
陶磁器	資源化	委託		3																	
					不用食器	再使用	ストックヤード	委託	1												
小型家電	資源化	小平市清掃事務所	保管	0	小型家電	資源化	東大和市暫定リサイクル施設	売却	2	小型家電	資源化	委託	売却	0							
										再使用資源物	再使用	売却等	15								



今後（平成32年度）

小平市				東大和市				武蔵村山市						
分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (トン)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (トン)	分別区分	処理方法	処理施設等		処理実績 (トン)
		一次処理	二次処理				一次処理	二次処理				一次処理	二次処理	
燃えるごみ	焼却・エコセメント化	小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設	(焼却灰)東京たまエコセメント化施設	27,808	可燃ごみ	焼却・エコセメント化	小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設	(焼却灰)東京たまエコセメント化施設	12,657	燃やせるごみ	焼却・エコセメント化	小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設	(焼却灰)東京たまエコセメント化施設	12,355
燃えないごみ	破碎・選別・埋立	小平・村山・大和衛生組合(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設	(破碎不燃)東京たま広域資源循環組合日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場(有価物)売却	4,172	不燃ごみ	破碎・選別・埋立	小平・村山・大和衛生組合(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設	(破碎不燃)東京たま広域資源循環組合日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場(有価物)売却	785	燃やせないごみ	破碎・選別・埋立	小平・村山・大和衛生組合(仮称)不燃・粗大ごみ処理施設	(破碎不燃)東京たま広域資源循環組合日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場(有価物)売却	1,185
粗大ごみ				932	粗大ごみ				168	粗大ごみ				270
缶類(アルミ缶、スチール缶)	選別・圧縮・保管	(仮称)小平市リサイクルセンター	売却	480	缶類(アルミ缶、スチール缶)	資源化	売却等		206	缶類(アルミ缶、スチール缶)	資源化	武蔵村山資源リサイクルセンター	売却等	268
ビン類(生びん)	選別・保管			1,231	ビン類(生びん、カレット)				31	ビン類(生びん、カレット)				488
プラスチック容器	選別・圧縮・保管	(仮称)3市共同資源物処理施設	容器包装リサイクル協会へ引き渡し	2,089	プラスチック容器	(仮称)3市共同資源物処理施設	容器包装リサイクル協会へ引き渡し	841	プラスチック容器	選別・圧縮・保管	(仮称)3市共同資源物処理施設	容器包装リサイクル協会へ引き渡し	680	
ペットボトル	選別・圧縮・保管	(仮称)小平市リサイクルセンター	売却	615	ペットボトル	資源化	売却等		272	ペットボトル	資源化	武蔵村山資源リサイクルセンター	売却等	205
白色トレイ	選別・保管			3	白色トレイ				1					
紙パック	保管	8	紙パック	7	紙パック	276								
布類	資源化	委託	730	布類	資源化	売却等	284	布類	資源化	売却等	2,382			
紙類	資源化	委託	5,450	紙類	資源化	売却等	1,932	紙類	資源化	売却等	2,382			
金属類(自転車等)	資源化	委託		79	金属類(鉄千地、自転車)	選別・保管		85	金属類	資源化	武蔵村山資源リサイクルセンター	売却	24	
剪定枝	チップ化	(仮称)小平市リサイクルセンター	施用	49	剪定枝	チップ化	委託		229	剪定枝	チップ化	委託		75
優良粗大ごみ	修復		再使用	16	粗大ごみリサイクル品	修復	ストックヤード	再使用	1	鉄製粗大ごみ	資源化	委託	売却	59
食物資源	資源化	委託		69	生ごみ	資源化			1					
有害ごみ(電池、蛍光管、水銀体温計等)	選別・保管	(仮称)小平市リサイクルセンター	売却	66	有害ごみ(電池、蛍光管、水銀体温計等)	保管	委託		20	有害ごみ(電池、蛍光管、水銀体温計等)	選別・保管	武蔵村山資源リサイクルセンター	委託	27
鍋・やかん				1										
陶磁器	資源化	委託		3										
スプレー缶・ガスカートリッジ	選別・保管	(仮称)小平市リサイクルセンター	委託	40										
ライター				3										
小型家電	資源化	(仮称)小平市リサイクルセンター	売却等	0	小型家電	資源化	売却等		1	小型家電	資源化	売却等		0
										再使用資源物	再使用	売却等		15

(3) 処理施設等の整備

上記(2)の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表4のとおり必要な施設整備を行う。

表4 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	容器包装リサイクル推進施設	(仮称) 3市共同資源物処理施設整備事業	約23t/日	東京都東大和市桜が丘2丁目122番地の2	H28～H30
2	マテリアルリサイクル推進施設	(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設整備事業	約38t/日	東京都小平市中島町2番2号	H29～H31
3	容器包装リサイクル推進施設	小平市リサイクルセンター施設整備事業	約12.6t/日	東京都小平市小川東町5丁目19番10号	H29～H30
参考-1	エネルギー回収型廃棄物処理施設	(仮称) 新ごみ焼却施設整備事業	未定	東京都小平市中島町2番1号	H32～ (次期計画)

(整備理由)

- 事業番号1 既存施設の老朽化、施設の集約による処理の効率化
- 事業番号2 既存粗大ごみ処理施設の老朽化・旧式化、資源選別効率の向上
- 事業番号3 既存施設の老朽化
- 事業番号 既存焼却施設の老朽化・旧式化、エネルギーの高効率回収・有効利用の促進
- 参考-1

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表5のとおり計画支援事業を行う。

表5 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	(仮称) 3市共同資源物処理施設整備(事業番号1)に係る実施計画	実施計画、測量、地質調査、地歴調査、土壌調査	H27
	(仮称) 3市共同資源物処理施設整備(事業番号1)に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H27~H28
	発注仕様書作成事業	発注仕様書	H27~H28
32	(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設整備(事業番号2)に係る基本計画	基本計画、測量、地質調査、土壌調査	H27~H28
	(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設整備(事業番号2)に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H28~H29
	発注仕様書作成事業	発注仕様書	H28~H29
33	小平市リサイクルセンター施設整備(事業番号3)に係る基本計画	基本計画	H27
	小平市リサイクルセンター施設整備(事業番号3)に係る測量、土壌調査	測量、地質調査、地歴調査、土壌調査	H28
	小平市リサイクルセンター施設整備(事業番号3)に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響調査	H28
	発注仕様書作成事業	発注仕様書	H28~H29
34	(仮称) 新ごみ焼却施設整備(事業番号参考-1)に係る基本計画	基本計画	H28~H29
	(仮称) 新ごみ焼却施設整備(事業番号参考-1)に係るPFI導入可能性調査	PFI導入可能性調査	H29
	(仮称) 新ごみ焼却施設整備(事業番号参考-1)に係るPFI業者選定アドバイザー又は焼却施設建設工事発注仕様書作成	PFIアドバイザー業者選定又は焼却施設建設工事発注仕様書作成	H30~H31
	(仮称) 新ごみ焼却施設整備(事業番号参考-1)に係るダイオキシン類及びアスベスト調査	ダイオキシン類及びアスベスト調査	H31
	(仮称) 新ごみ焼却施設整備(事業番号参考-1)に係る環境影響調査	環境影響調査	H29~H31
	(仮称) 新ごみ焼却施設整備(事業番号参考-1)に係る解体撤去工事発注仕様書作成	発注仕様書	H31

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア. 再生利用品の需要拡大事業

現在、焼却灰は二ツ塚最終処分場にて全量エコセメント化を行っているが、今後本事業を安定的に実施するためにも、引き続き公共工事等へのエコセメント利用促進を図る。

イ. 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

廃家電のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。

ウ. 不法投棄対策

東京都では、広域的な連絡・監視を充実させるため、近隣の11県18市とともに「産業廃棄物不適正処理防止広域連絡協議会」(通称「産廃スクラム30」)を組織し、相互に情報交換や協力体制を確保している。産廃スクラム30では、取締り等の連携の一環として、産業廃棄物収集運搬車両の広域的な路上調査を行っている。

また、平成20年度より新たに不法投棄撲滅強化月間を定め、積極的な事業PR等を展開している。

一般廃棄物については、3市と組合の一体となった取り組みにより、分別収集の徹底にむけた普及啓発を進めるとともに不法投棄の防止を図る。

エ. 災害時の廃棄物処理に関する事項

災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連携体制の構築に向け、検討する。

3市においては、平成31年度までに災害廃棄物処理計画を策定する。なお、災害廃棄物の仮置き場については、組合用地内に確保するよう検討中である。

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

小平・東大和・武蔵村山地域各市及び組合は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、小平・東大和・武蔵村山地域各市、東京都及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や目標の達成状況、社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。

循環型社会形成推進地域計画の添付書類一覧

- 添付資料 1 対象地域図
- 添付資料 2 目標の設定に関するグラフ
- 添付資料 3 分別区分説明資料

様式 1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1

- 添付資料 4 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ
- 添付資料 5 地域内の施設の現況と予定（位置図）

様式 2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2

様式 3 地域の循環型社会形成推進に向けた施策の一覧

その他参考資料

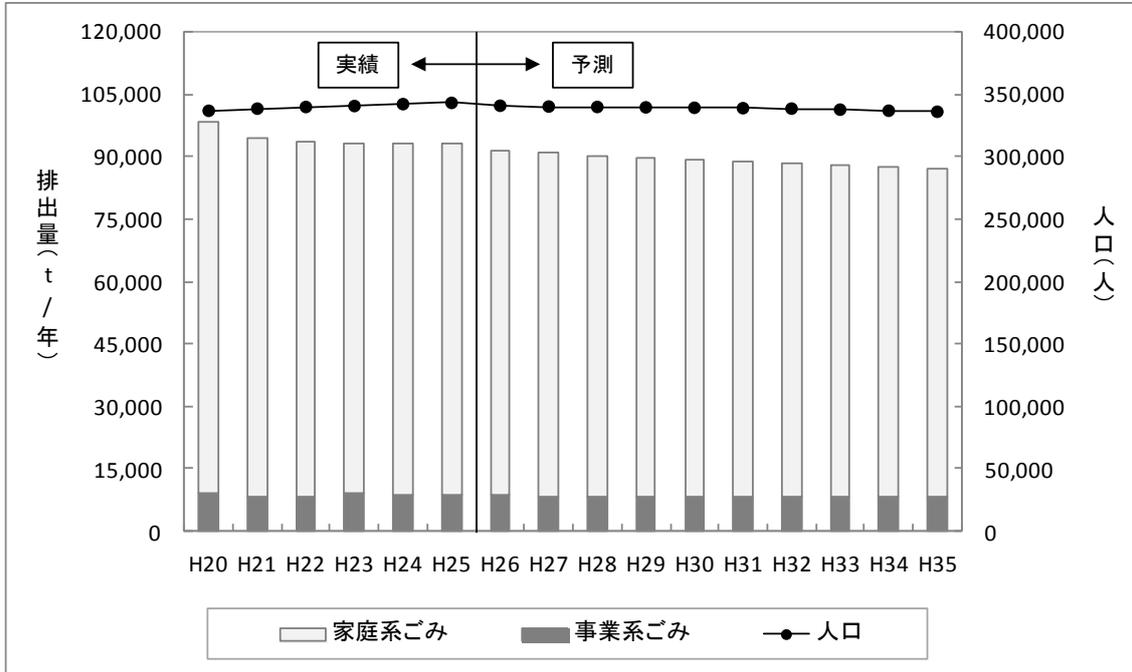
- 参考資料様式 1 施設概要（容器包装リサイクル推進施設系）
施設概要（マテリアルリサイクル推進施設系）
施設概要（容器包装リサイクル推進施設系）
- 参考資料様式 6 計画支援概要（容器包装リサイクル推進施設系）
計画支援概要（マテリアルリサイクル推進施設系）
計画支援概要（容器包装リサイクル推進施設系）
計画支援事業（エネルギー回収型廃棄物処理施設系）



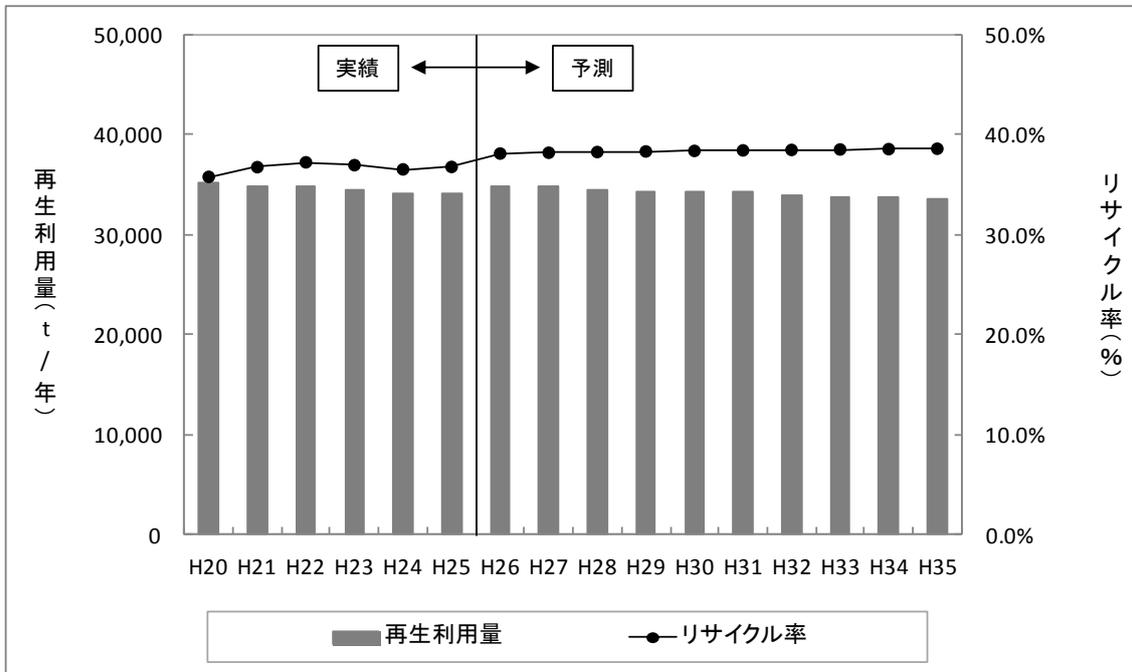
添付資料 2

目標の設定に関するグラフ

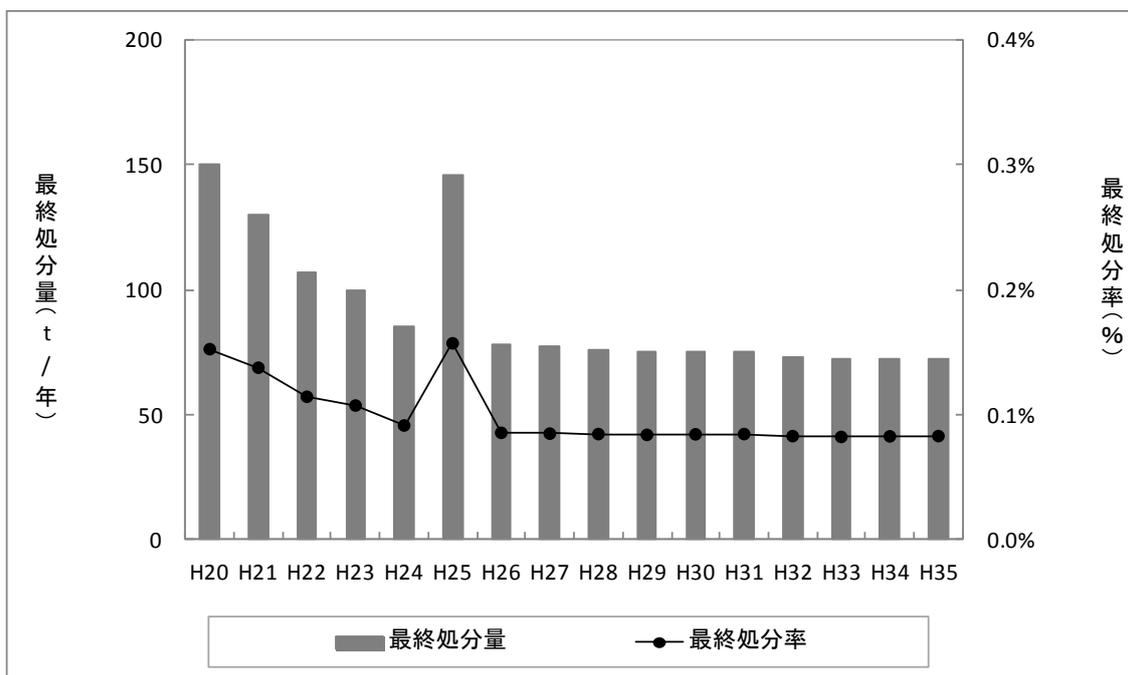
1. ごみ排出量の減量化目標



2. 再生利用の目標 (リサイクル率)



3. 最終処分の目標



1. 小平市

(1) 燃えるごみ

生ごみ、菓子袋などのフィルム状（うすい）プラスチック、紙おむつ、資源にならない紙類や布類、枝木など生ごみ、菓子袋などのフィルム状（うすい）プラスチック、紙おむつ、資源にならない紙類や布類、枝木など

(2) 燃えないごみ

陶磁器、ガラス、プラスチック製品、金属類、マヨネーズやケチャップなどのチューブ容器、発泡スチロール、靴、ハンガー、傘、電話機など

(3) 粗大ごみなど

家具類、電化製品など（品目別に定める物。その他は概ね50cm以上の物）

(4) 可燃性資源

新聞紙（チラシ）、雑誌（本）・雑がみ、段ボール、シュレッダーにかけた紙類、古布類（古着・古布、ぬいぐるみ、かばん、帽子、ネクタイ、ベルト）、ふとん（綿、羊毛、化繊、羽毛）

(5) 不燃性資源

ビン、カン、ペットボトル、プラスチック容器、スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター、金属製のなべ・やかん・フライパン

(6) 白色トレイ、紙パック

(7) 有害性資源

電池、蛍光管、水銀体温計

(8) 市で処理できないもの

ピアノ、耐火金庫、タイヤ、バッテリー、自動車部品、石、砂、土、コンクリート、ブロック、建築廃材、プロパンガスのボンベ、消火器、バイク（50cc を超えるもの）、殺虫剤、農薬、薬品、灯油など

2. 東大和市

(1) 可燃ごみ

- プラスチック製品で 15cm 未満のもの
- 汚れた容器包装プラスチック
- 皮製品（靴など）
- ゴム製品（長靴、ボール等）
- ビニール製品（クリーニングの袋、バッグ、靴等）
- 木くず、乾燥剤、保冷剤、湿布、使い捨てカイロ
- 食用油→紙や布にしみ込ませるか、凝固剤で固める

(2) 不燃ごみ

- ガラス製品、陶磁器、金属類
- 複合素材のもの（傘やフロッピーディスク等）
- 化粧品のびん
- プラスチック製品で、15cm より大きく、指定収集袋に入る大きさのもの
- 刃物や割れた食器
- 小型家電（指定収集袋に入る大きさのもの）

(3) 粗大ごみ

(4) 容器包装プラスチック

(5) ペットボトル

(6) 缶・びん

(7) 紙類

(8) 布類

(9) スプレー缶類

(10) 有害ごみ（乾電池、ライター、蛍光管、水銀体温計等）

(11) 白色トレイ・紙パック

(12) 使用済小型家電（回収ボックス）

(13) 市で処理できないもの

3. 武蔵村山市

- (1) 燃やせるごみ (可燃性資源物を除いたもの)
- (2) 古紙 (雑誌・新聞・紙ダンボール・雑紙)
- (3) 布
- (4) 剪定枝
- (5) 燃やせないごみ (不燃性資源物を除いたもの)
- (6) 容器包装プラスチック、 ペットボトル【これらは不燃性資源物です】
- (7) ビン類 (生きビンを含む)
- (8) 有害物 (電池・電球・蛍光灯・体温計【これらは不燃性資源物です】)
- (9) むいぐるみ【これらは可燃性資源物です】
- (10) 靴、鞆、ベルト【これらは不燃性資源物です】
- (11) 缶、 金属類【これらは不燃性資源物です】
- (12) 粗大ごみ
- (13) 市で処理できないもの

様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1
添付資料計画地域内の施設の状況（現況、予定）図

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1（平成 27 年度）

1 地域の概要

(1) 地域名	小平・東大和・武蔵村山地域	(2) 地域内人口	343,058 人	(3) 地域面積	49.37 km ²
(4) 構成市町村等名	小平市、東大和市、武蔵村山市、小平・村山・大和衛生組合	(5) 地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村：小平市、東大和市、武蔵村山市			設立年月日：昭和40年2月1日	

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状（排出量に対する割合）					目 標	
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成32年度
排 出 量	事業系 総排出量（トン）	8,319	8,207	8,934	8,819	8,759	集計中	8,231 (H25比 -6%)
	1 事業所当たりの排出量（トン/事業所）	0.74	0.75	0.84	0.86	0.85		0.81
	家庭系 総排出量（トン）	86,292	85,550	84,433	84,446	84,261	集計中	80,135 (H25比 -5%)
	1 人当たりの排出量（kg/人）	196	193	191	191	188		178
合 計	事業系家庭系排出量合計（トン）	94,611	93,757	93,367	93,265	93,020		88,366 (H25比 -5%)
再 生 利 用 量	直接資源化量（トン）	19,999 (21%)	20,064 (21%)	19,229 (21%)	19,025 (20%)	19,712 (21%)	集計中	19,779 (22%)
	総資源化量（トン）	34,778 (37%)	34,920 (37%)	34,510 (37%)	34,076 (37%)	34,215 (37%)		34,008 (38%)
熱 回 収 量	熱回収量（年間の発電電力量 MWh）	—	—	—	—	—	—	—
中間処理による減量化量	減量化量（中間処理前後の差 トン）	63,735 (67%)	62,795 (67%)	62,887 (67%)	63,136 (68%)	62,604 (67%)	集計中	58,395 (66%)
最 終 処 分 量	埋立最終処分量（トン）	130 (0.1%)	107 (0.1%)	100 (0.1%)	85 (0.1%)	146 (0.2%)	集計中	73 (0.1%)

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。（添付資料 4）

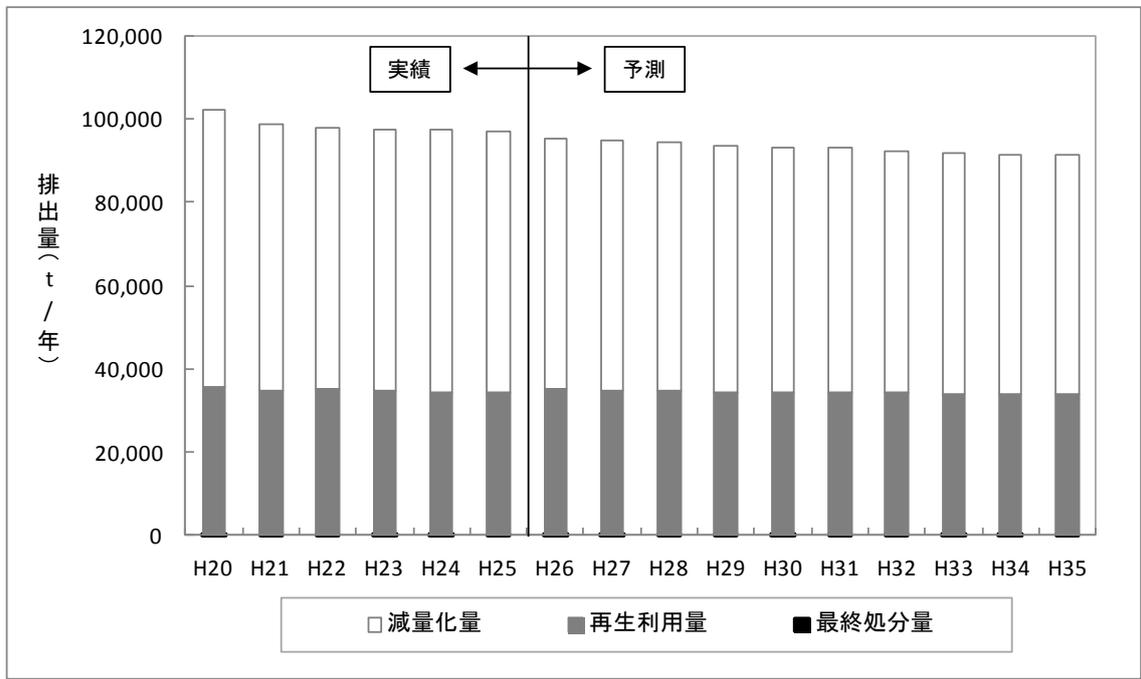
3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止、新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力(単位)	
容器包装リサイクル推進施設	小平市	ビン：選別 カン：選別・圧縮・梱包 布類：保管 剪定枝：チップ化・保管 優良粗大ごみ：修復 鍋・やかん：保管	有	ビン・カン等選別： 19.4t/日	H6.02	更新 (H31.04)	老朽化	ビン：選別 カン：選別・圧縮・梱包 布類：保管 剪定枝：チップ化・保管 優良粗大ごみ：修復 鍋・やかん：保管 白色トレイ、紙バック ：選別・保管 スプレー缶・ガスカート リッジ缶・ライター ：選別・保管 有害性資源(電池、蛍光管、 水銀体温計) ：選別・保管	H31.02	約12.6t/日	
		ペットボトル・プラスチック容器：選別・圧縮・梱包	有	ペットボトル等選別： 3.75t/日	H9.04	廃止 (H31.04)	広域化				
マテリアルリサイクル推進施設	東大和市	選別・圧縮・梱包	有	0.9t/h	H6.09	廃止 (H29.06)	広域化				
熱回収施設	小平・村山・大和衛生組合	全連続燃焼式ストーカ炉	有	3号炉： 150t/日	S50.03	廃止 (H37.02)	老朽化	全連続燃焼式	H37.02	未定	
有			4・5号炉： 105t/日×2	S61.11	更新 (H32.09)						
マテリアルリサイクル推進施設		破碎・選別	有	75t/日	S50.10	更新 (H32.04)	老朽化	破碎・選別	H32.02	約38t/日	
容器包装リサイクル推進施設						新設 (H31.02)	広域化	選別・圧縮・梱包	H31.02	約23t/日	

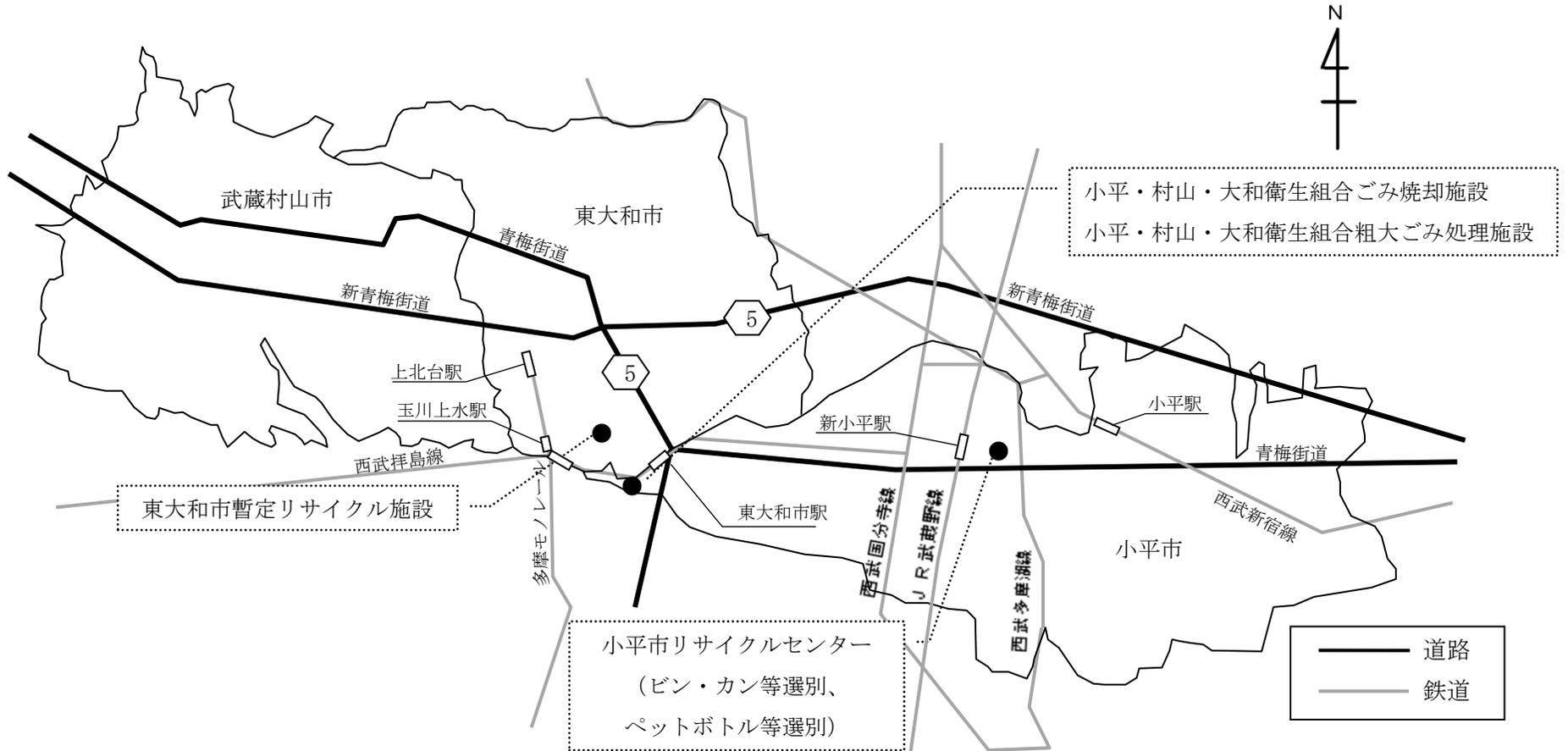
※計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付した。（添付資料5）

添付資料 4

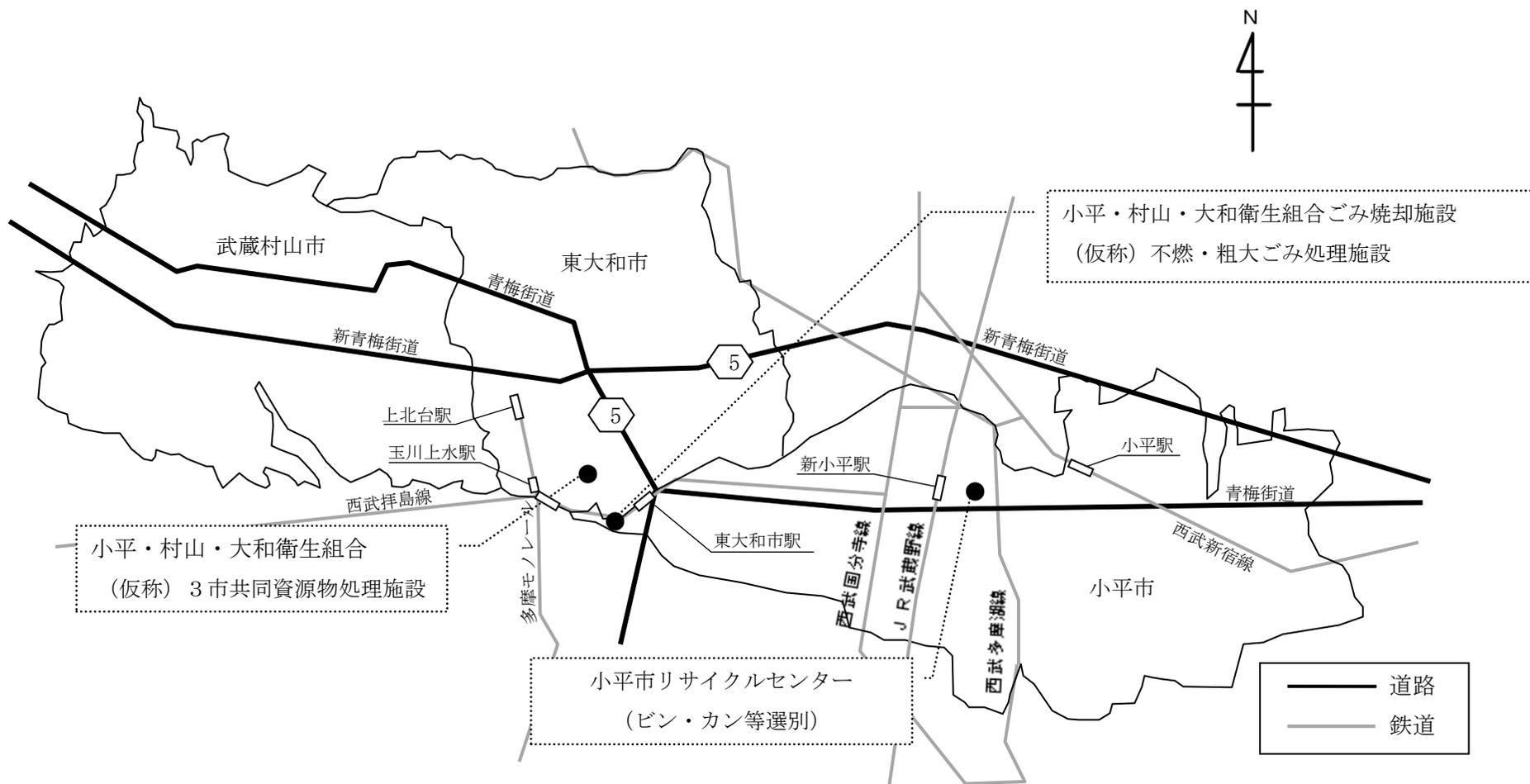
指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ



1. 現況図



2. 予定図



様式 2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成 28 年度)

事業種別 事業名称	事業番号	事業主体 名称	規模		事業期間 交付期間		総事業費 (千円)						交付対象事業費 (千円)						備考		
			単位		開始	終了	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	(平成 32年度)	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	(平成 32年度)			
○再生利用に関する事業							7,097,544	0	98,658	1,273,440	3,587,526	2,137,920		7,086,258	0	87,372	1,273,440	3,587,526	2,137,920		
(仮称) 3市共同資源物処理施設整備	1	小平・村山・大和衛生組合	約23	t/d	H28	H30	2,721,600	0	98,658	1,088,640	1,534,302	0		2,710,314	0	87,372	1,088,640	1,534,302	0		
(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設整備	2	小平・村山・大和衛生組合	約38	t/d	H29	H31	2,732,400	0	0	60,000	534,480	2,137,920		2,732,400	0	0	60,000	534,480	2,137,920		
小平市リサイクルセンター施設整備	3	小平市	約12.6	t/d	H28	H30	1,643,544	0	0	124,800	1,518,744	0		1,643,544	0	0	124,800	1,518,744	0		
○施設整備に関する計画支援に関する事業							386,607 (386,607)	52,596	70,820	58,900	109,044	95,247	(0)	385,685 (385,685)	52,596	69,898	58,900	109,044	95,247	(0)	
(仮称) 3市共同資源物処理施設に関する計画支援	31	小平・村山・大和衛生組合			H27	H29	37,584	24,408	13,176	0	0	0		37,584	24,408	13,176	0	0	0		
(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設に関する計画支援	32	小平・村山・大和衛生組合			H27	H29	38,016	19,548	7,387	11,081	0	0		38,016	19,548	7,387	11,081	0	0		
小平市リサイクルセンターに関する計画支援	33	小平市			H27	H29	38,120	8,640	25,831	3,649	0	0		37,198	8,640	24,909	3,649	0	0		
(仮称) 新ごみ焼却施設に関する計画支援	34	小平・村山・大和衛生組合			H28	H32	272,887	0	24,426	44,170	109,044	95,247	(0)	272,887	0	24,426	44,170	109,044	95,247	(0)	H32は次期計画
合計							7,484,151 (7,484,151)	52,596	169,478	1,332,340	3,696,570	2,233,167	(0)	7,471,943 (7,471,943)	52,596	157,270	1,332,340	3,696,570	2,233,167	(0)	

注) 小平・村山・大和衛生組合構成市町村：小平市、東大和市、武蔵村山市

※ 1 事業番号については、計画本文 3 (3) 表 4 に示す事業番号及び様式 3 の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式 3 に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。

※ 2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。

※ 3 実施しない事業の欄は削除して構わない。

※ 4 同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。

循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の内容	実施主体	事業期間		交付金必要の 要否	事業計画					備考				
					開始	終了		平成	平成	平成	平成	平成					
								27年度	28年度	29年度	30年度	31年度					
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	家庭ごみの有料化	・「市民の意識改革」を目的として家庭ごみ有料化を導入し、その結果として廃棄物の減量、資源物の分別徹底等を図る。	小平市	H31	H31							導入検討	実施予定			
			・家庭ごみ有料化を導入し、廃棄物の減量や排出量に応じた負担の公平化及び住民意識の改革を図る。	東大和市	H27	H31									継続実施	H26年度より実施	
			・家庭ごみ有料化を導入し、一般廃棄物の排出抑制や再利用の促進、排出量に応じた負担の公平化、住民の意識改革等を図る。	武蔵村山市	H30	H31									導入検討	実施予定	
	12	生ごみの減量	・未利用食品の削減、生ごみの水切り、食物資源（生ごみ）循環モデル事業による資源化等を図る。	小平市	H27	H31									継続実施	H22年度より食物資源循環モデル事業を開始	
			・生ごみの水切り等、市が市民や事業者に対して啓発を行う。	東大和市	H27	H31									継続実施	H25年度に基本計画策定	
			・生ごみの水切り等によるごみの減量化を図る。	武蔵村山市	H27	H31									継続実施	H20年度より開始	
			・生ごみの堆肥化モデル事業実施														H26年度より開始
	13	環境教育、啓発活動	・市民の学習や啓発活動を継続実施し、市民生活や事業活動の見直しを図る。	小平市	H27	H31									継続実施	H25年度に基本計画策定	
			マイバック運動・レジ袋対策	・マイバックキャンペーンの実施、環境学習プログラムの提供等、市民及び事業者に対して啓発を行い意識改革を図る。	東大和市	H27	H31									継続実施	H25年度に基本計画策定
			・3R意識を向上させるための広報の充実、エコバッグ等の利用促進、環境学習プログラムの提供等、普及啓発活動を図る。	武蔵村山市	H27	H31										継続実施	H20年度よりマイバッグ配布
	14	助成	・集団回収等へ補助金の交付を行う。	小平市	H27	H31									継続実施	S53年度より集団回収団体補助金制度開始	
			・集団回収等への活動支援を行う。	東大和市	H27	H31									継続実施	H25年度に基本計画策定	
・集団回収団体への奨励金の交付を行う。			武蔵村山市	H27	H31									継続実施	S62年度より集団回収団体補助金制度開始		
処理体制の構築、変更に関するもの	21	容器包装プラスチックの資源化	・3市共同資源物処理施設整備に伴い、全量容器包装プラスチックの資源化を図る。	小平市	H31	H31								実施	関連事業1		
	22	回収ルートの変更	・行政回収を中心としたリサイクルから、集団回収の推進等、民間回収ルートを活用した資源化を図る。	東大和市	H27	H31								継続実施	H25年度に基本計画策定		
	23	戸別収集	・家庭ごみ有料化と合わせて実施することを予定。	小平市	H31	H31									導入検討	実施予定	
・戸別収集の実施。			東大和市	H27	H31									継続実施	H26年度より実施		
・家庭ごみ有料化と合わせて実施することを予定。			武蔵村山市	H30	H31									導入検討	実施予定		

循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号	施策の名称等	施策の内容	実施主体	事業期間		交付金必要の 要否	事業計画					備考	
					開始	終了		平成 年27度	平成 年28度	平成 年29度	平成 年30度	平成 年31度		
処理施設の 整備に関するもの	1	容器包装リサイクル施設整備	・(仮称) 3市共同資源物処理施設(容器包装リサイクル推進施設)整備	小平・村山・大和衛生組合	H28	H30	○			建設工事				関連事業 31
	2	マテリアルリサイクル施設整備	・(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設(マテリアルリサイクル推進施設)整備	小平・村山・大和衛生組合	H29	H31	○			建設工事				関連事業 32
	3	容器包装リサイクル施設整備	・小平市リサイクルセンター(容器包装リサイクル推進施設)整備	小平市	H29	H30	○			建設工事				関連事業 33
	参考-1	エネルギー回収型廃棄物処理施設整備	・(仮称) 新ごみ焼却施設(エネルギー回収型廃棄物処理施設)整備	小平・村山・大和衛生組合	H32	-	○							(次期計画) 関連事業 34
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	・(仮称) 3市共同資源物処理施設(容器包装リサイクル推進施設)整備に係る計画支援	小平・村山・大和衛生組合	H27	H28	○	計画調査等						
	32	2の計画支援	・(仮称) 不燃・粗大ごみ処理施設(マテリアルリサイクル推進施設)整備に係る計画支援	小平・村山・大和衛生組合	H27	H29	○	計画調査等						
	33	3の計画支援	・小平市リサイクルセンター(容器包装リサイクル推進施設)整備に係る計画支援	小平市	H27	H29	○	基本計画	測量、土壌調査					
	34	参考-1の計画支援	・(仮称) 新ごみ焼却施設(エネルギー回収型廃棄物処理施設)整備に係る計画支援	小平・村山・大和衛生組合	H28	H31	○	基本計画	PFI導入可能性調査	PFIアドバイザー業者選定又は焼却施設建設工事発注仕様書作成				
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	・公共事業等へのエコセメント利用促進を図る。	小平・東大和・武蔵村山地域各市	H27	H31								H18年度より実施
	42	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	・家電リサイクル法に基づく処理の普及啓発。	小平・東大和・武蔵村山地域各市	H27	H31								H10年度より実施
	43	不法投棄対策	・分別区分の徹底とパトロール強化、街灯の設置。	小平・東大和・武蔵村山地域各市	H27	H31								H12年度より実施
	43	災害時の廃棄物処理に関する事項	災害廃棄物処理計画の策定	小平・東大和・武蔵村山地域各市	H29	H31							実施	H31年度までに実施

参考資料 様式 1 施設概要

施設概要（容器包装リサイクル推進施設系）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平・村山・大和衛生組合
(2)施設名称	（仮称）3市共同資源物処理施設
(3)工期	平成28年度～平成30年度
(4)施設規模	処理能力 約23t/日
(5)処理方式	選別・圧縮・梱包
(6)地域計画内の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の老朽化対策として、新施設を新設し適正処理を行う。 ・資源物を共同処理することで、資源化基準及び分別区分の統一を図り、効率的な収集を行う。
(7)廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8)生成する原材料及びその利用計画	
--------------------	--

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9)固形燃料の利用計画	
--------------	--

「ストックヤード」を整備する場合

(10)ストック対象物	
-------------	--

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11)容器包装リサイクル推進施設の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・処理能力 容器包装プラスチック：約17t/日 ペットボトル：約6t/日 ・処理方法 容器包装プラスチック：破袋、手選別、圧縮、梱包 ペットボトル：破袋、除袋、手選別、圧縮、梱包
----------------------	--

(12)事業計画額	2,721,600千円
-----------	-------------

施設概要（マテリアルリサイクル推進施設系）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平・村山・大和衛生組合
(2)施設名称	（仮称）不燃・粗大ごみ処理施設
(3)工期	平成 29 年度～平成 31 年度
(4)施設規模	処理能力 約 38t/日
(5)処理方式	破碎・選別
(6)地域計画内の役割	・既存施設の老朽化及び旧式化対策として、現状のごみ量、ごみ質に見合った新たな施設を整備し適正処理を行う。
(7)廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8)生成する原材料及びその利用計画	
--------------------	--

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9)固形燃料の利用計画	
--------------	--

「ストックヤード」を整備する場合

(10)ストック対象物	不燃ごみ及び粗大ごみ
-------------	------------

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11)容器包装リサイクル推進施設の内訳	
----------------------	--

(12)事業計画額	2,732,400 千円
-----------	--------------

施設概要（容器包装リサイクル推進施設系）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平市
(2)施設名称	小平市リサイクルセンター
(3)工期	平成29年度～平成30年度
(4)施設規模	処理能力 約12.6t/日
(5)処理方式	選別・圧縮・梱包
(6)地域計画内の役割	・既存施設の老朽化対策として、新たに施設を整備し適正処理を行う。
(7)廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

(8)生成する原材料及びその利用計画	
--------------------	--

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

(9)固形燃料の利用計画	
--------------	--

「ストックヤード」を整備する場合

(10)ストック対象物	布、なべ・やかん、優良粗大ごみ（中古不用品の再生）、白色トレイ、紙パック、スプレー缶・ガスカートリッジ缶、ライター、有害性資源（蛍光管、乾電池）、剪定枝（保管）
-------------	--

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(11)容器包装リサイクル推進施設の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・処理能力 カン：約5.6t/日 ビン：約12.6t/日 ・処理方法 カン：選別、圧縮、梱包 ビン：選別
----------------------	---

(12)事業計画額	1,643,544千円
-----------	-------------

参考資料 様式6 計画支援概要

計画支援概要（容器包装リサイクル推進施設）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平・村山・大和衛生組合		
(2)施設名称	（仮称）3市共同資源物処理施設		
(3)事業名称	（仮称）3市共同資源物処理施設整備に係る実施計画	（仮称）3市共同資源物処理施設整備に係る生活環境影響調査事業	発注仕様書作成事業
(4)事業期間	平成 27 年度	平成 27 年度～ 平成 28 年度	平成 27 年度～ 平成 28 年度
(5)事業概要	当該施設の整備に伴い、実施計画の作成、測量、地質調査、土壌調査を実施する。	当該施設設置予定地の生活環境影響調査を実施する。	当該施設の整備に伴い、発注仕様書を作成する。
(6)事業計画額	21,492 千円	8,748 千円	7,344 千円

計画支援概要（マテリアルリサイクル推進施設）

都道府県名 東京都

(1)事業主体名	小平・村山・大和衛生組合		
(2)施設名称	（仮称）不燃・粗大ごみ処理施設		
(3)事業名称	（仮称）不燃・粗大ごみ処理施設整備に係る基本計画	（仮称）不燃・粗大ごみ処理施設整備に係る生活環境影響調査事業	発注仕様書作成事業
(4)事業期間	平成 27 年度～ 平成 28 年度	平成 28 年度～ 平成 29 年度	平成 28 年度～ 平成 29 年度
(5)事業概要	当該施設の整備に伴い、基本計画の作成、測量、地質調査、土壌調査を実施する。	当該施設設置予定地の生活環境影響調査を実施する。	当該施設の整備に伴い、発注仕様書を作成する。
(6)事業計画額	19,548 千円	11,016 千円	7,452 千円

計画支援概要（容器包装リサイクル推進施設）

都道府県名 東京都

(1) 事業主体名	小平市			
(2) 施設名称	小平市リサイクルセンター			
(3) 事業名称	小平市リサイクルセンター整備に係る基本計画	小平市リサイクルセンター整備に係る実施計画	小平市リサイクルセンター整備に係る生活環境影響調査事業	発注仕様書作成事業
(4) 事業期間	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度	平成 28 年度 ～平成 29 年度
(5) 事業概要	①当該施設の整備の基本計画を作成する。	①当該施設の整備に伴い、実施計画の作成、測量、地質調査、地歴調査、土壌調査を実施する。	①当該施設設置予定地の生活環境影響調査を実施する。 ②当該施設の整備後に必要となる現小平市リサイクル施設解体工事に係るアスベスト類の事前調査を実施する。	①当該施設の整備に伴い、発注仕様書を作成する。
(6) 事業計画額	8,640 千円	10,370 千円	8,396 千円	10,714 千円

計画支援概要（エネルギー回収型廃棄物処理施設）

都道府県名 東京都

(1) 事業主体名	小平・村山・大和衛生組合					
(2) 施設名称	(仮称) 新ごみ焼却施設					
(3) 事業名称	(仮称) 新ごみ焼却施設整備に係る基本計画	(仮称) 新ごみ焼却施設整備に係る PFI 導入可能性調査	(仮称) 新ごみ焼却施設整備に係る PFI 業者選定アドバイザー又は焼却施設建設工事発注仕様書作成	(仮称) 新ごみ焼却施設整備に係るダイオキシン類及びアスベスト調査	(仮称) 新ごみ焼却施設整備に係る生活環境影響調査	(仮称) 新ごみ焼却施設整備に係る解体撤去工事発注仕様書作成
(4) 事業期間	平成 28～平成 29 年度	平成 29 年度	平成 30～平成 31 年度	平成 31 年度	平成 29～平成 31 年度	平成 31 年度
(5) 事業概要	当該施設整備に伴い、基本計画を作成する。	当該施設整備に伴い、PFI 導入可能性調査を実施する。	当該施設整備に伴う PFI 業者選定アドバイザー又は焼却施設建設工事発注仕様書を作成する。	当該施設整備に伴い、ダイオキシン類及びアスベストの調査を実施する。	当該施設設置予定地の生活環境影響調査を実施する。	当該施設整備に伴い、既存施設の解体撤去工事発注仕様書を作成する。
(6) 事業計画額	24,426 千円	6,370 千円	36,360 千円	7,817 千円	189,000 千円	8,914 千円